

ひじりの声 上田 藤市郎

致良知という言葉の意味を読むと、人間には生まれつき善行を行おうとする気持ちがある。日々の生活で、これを実践していくには、その後の学びと反省が必要なのは言うまでもない。教わらないと解らないこともたくさんある。最近の世相を見て、危惧することがひとつある。政治家から企業家、一個人に至るまで「恥ずかしい」という自意識を待たない人が増えていることだ。自分に有利なことや身内や仲間を守るためなら、嘘をつくことを躊躇しない、自分の努力に価しない報酬や待遇、賛辞を受けられることを憚らないような事象が見られるようになってきたことだ。他人から指摘される前に、自分の言動を省みて、自らを恥じる勇気が尊いとされた時代があったのだが。我が国に限らず、自分の否は決して認めず、相手を反駁すること、力は正義だという主張が、世界的に広がっているのは残念だ。昔の親は、だれもが高等教育を受けていたわけではないが、口を酸っぱくして子供に言い聞かせてきたことは、「うそをつくな。弱い者いじめはするな。自分さえ良かったらいいという考えはあかん。」だった。人間にとつて、一番大事なことは、金でも社会的地位でもなく、恥ずかしいことをしないことだった。

【高島藤樹会事務局より】

前号でお知らせしましたように、本会の思想普及委員会が、藤樹先生

とその教えを再顕彰するため、先生の座像を制作し、販売されました。今年度からは、販売事業を事務局が引き継ぐことになりました。

中江藤樹座像の追加販売

会員をはじめ、多くの皆様にご購入たまわり、玄関や居間、床の間等に先生座像を安置して、先生を身近に感じながら、その教えを日々心の支えにしていただいたり、御宅を訪問された皆様に座像を交え、素晴らしい先生の生き方や教えをお話していただいたりする機会になれば幸いです。

◆座像の仕様等

- 一、陶製（信楽焼）
- 二、原型制作者は、高島市内の元中学校美術科教師
- 三、製品製作者は、信楽焼
- 四、高さ一九二mm、幅一二九mm、奥行き一三三mm
- 五、台座板（楠無垢材）、収納箱（紙箱）
- 六、販売価格（一体）*消費税込み
・高島藤樹会会員 一万円
・一般 一万二千元
- 七、購入お問い合わせ先
藤樹会事務局（良知館内）

☎七四〇―三二―四一五六

「藤樹紙芝居」の活用について

―「道徳性を養う
指導展開プラン」―

高島藤樹会思想普及委員会

高島藤樹会では、近江聖人中江藤樹先生の遺徳を顕彰するために、高島市教育委員会に支援していただき、平成二十一年第一作「そばやのかんばん」を皮切りに、平成二十六年第十八作「竹生島での出会い」に至るまで、都合十八作の「藤樹紙芝居」を制作してまいりました。そして、市内の全小中学校・幼稚園・保育園等に配付したり、全国の購入希望者に販売したりして、広く活用していただく活動を続けてきております。

平成二十九年文科省から小学校学習指導要領が告示されました。その中に、『社会に開かれた教育課程』の実現をめざすこと。そのため、学校は、必要な学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にしながら、社会との連携および協働によりその実現を図っていく。』と明示されました。

これを受けて、本委員会では、昨年度、十八作の紙芝居の中で、藤樹先生が実学により探究された「良知」に従う道徳性を子どもたちに身に

けさせることが期待できる六題材を選択し、紙芝居の上演に併せて、その内容について深めていただけることができる『道徳性を養う指導展開プラン』を作成いたしました。学校や保育園・幼稚園での読み聞かせボランティアのみなさん、子供会やスポーツ少年団の指導者のみなさん、ボーイ・ガールスカウトの指導者のみなさんやご家庭等で、広くご活用いただけますとありがたく存じます。

なお、紙芝居のご購入や貸し出し、藤樹会会員による上演依頼等についての詳細は、藤樹会までお尋ねください。

紙面の都合から、本号では、『指導展開プラン』の中から『そばやのかんばん』（小学校中学年）と、『馬方又左衛門』（小学校高学年）を、以下に紹介します。



藤樹紙芝居『馬方又左衛門』